一般社団法人
ＭＯＡ自然農法
文化事業団
美幌会

感謝と健康をベースにした　人・家庭・まちづくり

栃の木からの手紙

２０２５年　神無月　１０月号

７日：　満月　旧　８月　１６日
８日：　寒露
２１日：　新月　旧　９月　１日
２３日：　霜降

１０月１日午後　料理教室の食材、赤ビーツを求めて横山夫妻が当農場を訪れました。
既に９月上旬に収穫してあるので畑にはありませんが、小さくて取り残された赤ビーツは、ここがビーツ畑であった事を伝えてくれました。

２０２５年　有機ＪＡＳ・一般赤ビーツの　収穫量

有機ＪＡＳ赤ビーツ	
収穫9/9・10ミニコン数	
小	3
100g台	6
200g台	6
300g台	5.5
400g台	4.5
500g台	4.5
600g台	2
700g台	1
大	1
外	
ミニコン数	33.5
総重量	670ｋｇ

一般赤ビーツ		
収穫	8月7日	9月10日
小		
100g台	0.5	1
200g台	0.5	1
300g台	0.5	1
400g台	1	1
500g台	2	2
600g台	2	1
700g台	2	2
大		1
外	5	
加工済み	107kg	
ミニコン数	13.5	10
総重量	350	180
合計	530kg	

一般ビートは、作る予定はありませんでしたが、育苗時にネズミによる食害を受けたためトレー１０枚を追加で播種しました。その為余った苗をアスパラ圃場やアスパラハウスに移植しました。２０年以上アスパラを続けていた圃場にはビート系に害を与える微生物が少ないためか偶然にも好結果になりました。

有機ビーツ１反分　　一般ビーツ３畝位

左写真は、アスパラハウスの赤ビーツ。有機ビーツは、移植してから１週間位は毎日水を掛けていた程の旱魃状態でした。畑によって水持ちも違うものなのですね。